

製品名: ERK1/2 (9A4) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03623**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100 |
| 分子量 | Calculated MW: 44,42 kDa; Observed MW: 44,42 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | MAPK3/MAPK1 |
| 別名 | MAPK3; ERK1; ERT2; ERK-1; PRKM3; P44ERK1; P44MAPK; HS44KDAP; HUMKER1A; p44-ERK1; p44-MAPK; MAPK1; ERK; p38; p40; p41; ERK2; ERT1; ERK-2; MAPK2; PRKM1; PRKM2; P42MAPK; p41mapk; p42-MAPK. |
| 遺伝子 ID | 5595/5594 |
| SwissProt ID | P27361/P28482 |
| 免疫原 | - |

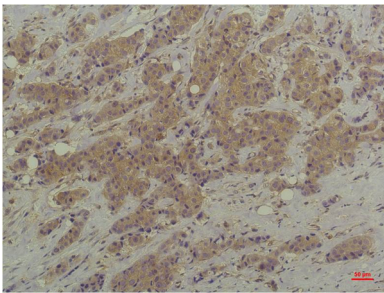
背景

セリン/スレオニンキナーゼは、MAP キナーゼシグナル伝達経路の必須構成要素として機能します。MAPK1/ERK2 と MAPK3/ERK1 は、MAPK/ERK カスケードにおいて重要な役割を果たす 2 つの MAPK です。これらは、活性化 KIT および KITLG/SCF によって開始されるシグナル伝達カスケードにも関与します。細胞の状況に応じて、MAPK/ERK カスケードは転写、翻訳、細胞骨格の再編成を制御することにより、細胞の成長、接着、生存、分化など、多様な生物学的機能を媒介します。

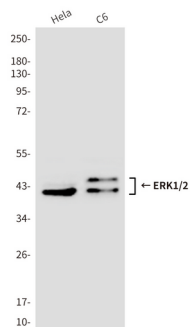
研究分野

細胞生物学

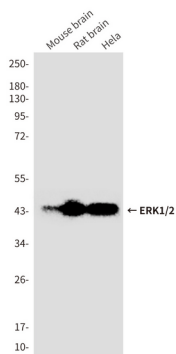
画像データ



ERK1/2 (9A4) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



ERK1/2 (9A4) 抗体を用いた HeLa、C6 ライセート中の ERK1/2 (9A4) のウェスタンブロット分析



ERK1/2 (9A4) 抗体を用いたマウス脳、ラット脳、HeLa ライセート中の ERK1/2 (9A4) のウェスタンブロット解析